

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9701001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	2年次
実 施 学 期	秋C	曜 時 限	月曜・5、6時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担当教員(連絡先)	吉田 武男		
オフィスアワー	月(18:00~19:00) 教職サポートルーム(グローバル教師力開発推進室)		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授業の概要	教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。		
授業計画	第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ) 第2回:特別活動の歴史の変遷と実際 第3回:生徒指導や教科教育との関連 第4回:道徳教育や総合的な学習との関連 第5回:キャリア教育との関連 第6回:特別活動の目標と内容 第7回:学級活動と生徒会活動の実際 第8回:クラブ活動と学校行事の実際 第9回:特別活動の評価 第10回:特別活動の課題と展望 定期試験		
成績評価方法	試験と授業への参加状況をもとに総合的に評価する。		
テキスト	第1回の授業前に掲示等で指示する。		
参考文献	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編		
授業外における学習方法			
受講学生に望むこと			
備考	旧課程の「特別活動」に対応。		

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9702011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜・4、5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	京免 徹雄 (人間系棟 A543 TEL 029-853-4590 E-mail: kyomen@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フィ ス ア ワ ー	木曜日 14 時 から 16 時		
授 業 の 到 達 目 標	1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。 2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。 3) 特別活動の指導法や評価について理解する。 4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。 5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。		
授 業 の 概 要	教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。		
授 業 計 画	第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ) 第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に) 第3回:学校行事の歴史の変遷 第4回:学校行事の実際 第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷 第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際 第7回:生徒活動の歴史の変遷 第8回:生徒会活動の実際 第9回:学習指導案の検討 第10回:まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	毎回の授業への取り組みの状況、課題(学習指導要領関連)、および試験によって総合的に評価する。		
テ キ ス ト	第1回の授業時に指示する。		
参 考 文 献	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、 高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。 ・小／中／高等学校学習指導要領解説の特別活動編(文部科学省のウェブサイトからアクセスできます)を精読してください。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	・3 分の 2(7 回)以上の出席が単位認定の前提となります。 ・教育について考えるためには、日々めまぐるしく変化する現代社会について知っていることが重要です。ぜひ新聞等を積極的に読みましょう。		

		<p>・授業で学んだことを鵜呑みにするのではなく、自分の頭でしっかりと考えて消化し、さらに積極的に外にアウトプットしていきましょう。お互いに語り合うこと、それはみなさんの教師としての視野を広げ、実践力を高めることにつながると確信しています。</p>
備	考	旧課程の特別活動に対応。

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9705001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春季休業中	曜 時 限	集中(2/19、2/22)
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	田中 マリア		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授 業 の 概 要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)  第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)  第3回:学校行事の歴史の変遷  第4回:学校行事の実際  第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷  第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際  第7回:生徒活動の歴史の変遷  第8回:生徒会活動の実際  第9回:学習指導案の検討  第10回:まとめ  定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	授業への参加態度(発表含む)30%、コメントカードや求められた提出物20%、最終試験50%		
テ キ ス ト	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編		
参 考 文 献	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、 高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	<p>授業内はもちろん、授業外については特に1日目と2日目の間に取り組んでもらう課題がある。  2日目の最初の講義の際は、その課題をもとにグループ内活動(各自発表)をしてもらう予定であり、これも評価の一部になることを了解した上で履修すること。</p>		
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	旧課程の特別活動に対応。		

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9706011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	夏季休業中	曜 時 限	集中(9/17、9/18)
対 象 学 群・学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数)		
担当教員(連絡先)	京免 徹雄		
オフィスアワー	木曜日 14 時 から 16 時		
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授 業 の 概 要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)</p> <p>第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)</p> <p>第3回:学校行事の歴史の変遷</p> <p>第4回:学校行事の実際</p> <p>第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷</p> <p>第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際</p> <p>第7回:生徒活動の歴史の変遷</p> <p>第8回:生徒会活動の実際</p> <p>第9回:学習指導案の検討</p> <p>第10回:まとめ</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>毎回の授業への取り組みの状況、課題(学習指導要領関連)、および試験によって総合的に評価する。</p>		
テ キ ス ト	<p>第1回の授業時に指示する。</p>		
参 考 文 献	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、</p> <p>中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、</p> <p>高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	<p>・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。</p> <p>・小／中／高等学校学習指導要領解説の特別活動編(文部科学省のウェブサイトからアクセスできます)を精読してください。</p>		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	<p>・3 分の 2(7 回)以上の出席が単位認定の前提となります。</p> <p>・教育について考えるためには、日々めまぐるしく変化する現代社会について知っていることが重要です。ぜひ新聞等を積極的に読みましょう。</p>		

		<p>・授業で学んだことを鵜呑みにするのではなく、自分の頭でしっかりと考えて消化し、さらに積極的に外にアウトプットしていきましょう。お互いに語り合うこと、それはみなさんの教師としての視野を広げ、実践力を高めることにつながると確信しています。</p>
備	考	旧課程の特別活動に対応。

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践 (Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9706021	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	木曜・2、3 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数)		
担当教員(連絡先)	京免 徹雄 (人間系棟 A543 TEL 029-853-4590 E-mail: kyomen@human.tsukuba.ac.jp)		
オフィスアワー	木曜日 14 時 から 16 時		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授業の概要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授業計画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)  第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)  第3回:学校行事の歴史の変遷  第4回:学校行事の実際  第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷  第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際  第7回:生徒活動の歴史の変遷  第8回:生徒会活動の実際  第9回:学習指導案の検討  第10回:まとめ  定期試験</p>		
成績評価方法	<p>毎回の授業への取り組みの状況、課題(学習指導要領関連)、および試験によって総合的に評価する。</p>		
テキスト	<p>第1回の授業時に指示する。</p>		
参考文献	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、  中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、  高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)</p>		
授業外における学習方法	<p>・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。  ・小／中／高等学校学習指導要領解説の特別活動編(文部科学省のウェブサイトからアクセスできます)を精読してください。</p>		
受講学生に望むこと	<p>・3 分の 2(7 回)以上の出席が単位認定の前提となります。  ・教育について考えるためには、日々めまぐるしく変化する現代社会について知っていることが重要です。ぜひ新聞等を積極的に読みましょう。</p>		

		<p>・授業で学んだことを鵜呑みにするのではなく、自分の頭でしっかりと考えて消化し、さらに積極的に外にアウトプットしていきましょう。お互いに語り合うこと、それはみなさんの教師としての視野を広げ、実践力を高めることにつながると確信しています。</p>
備	考	旧課程の特別活動に対応。